

2022年度後期 [民事訴訟法実務特殊講義 II] 授業評価アンケート（2023年1月31日実施）

3

応答

05:25

完了するのにかった平均時間

アクティブ

状態

1. 学年（その他と回答した方は具体的に記入してください。）

● 法学部1年生	0
● 法学部2年生	1
● 法学部3年生	2
● 法学部4年生以上	0
● その他	0



2. この授業の出席状況は？

● 全て/ほとんど出席した	3
● だいたい出席した	0
● あまり出席しなかった	0
● 全く/ほとんど出席しなかった	0



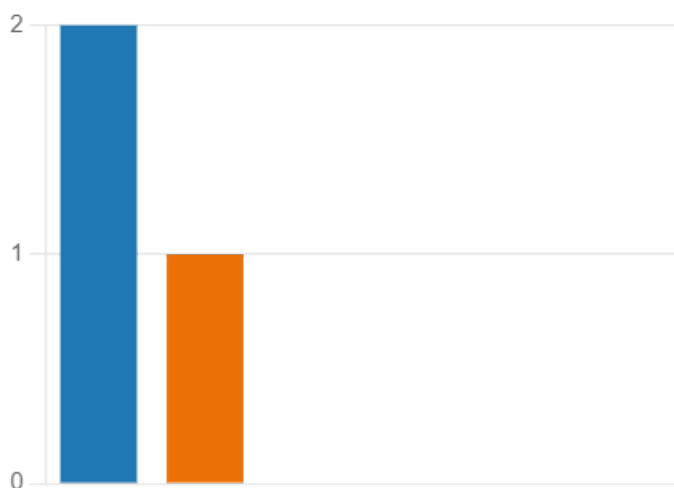
3. 授業内容に興味がありましたか。

- たいへん興味もてた。 1
- 興味もてた。 1
- どちらともいえない。 1
- あまり興味もてなかった。 0
- 全く興味もてなかった。 0
- わからない。 0



4. 授業内容は理解できましたか。

- よく理解できた。 2
- だいたい理解できた。 1
- どちらともいえない。 0
- あまり理解できなかった。 0
- 全く理解できなかった。 0
- わからない。 0

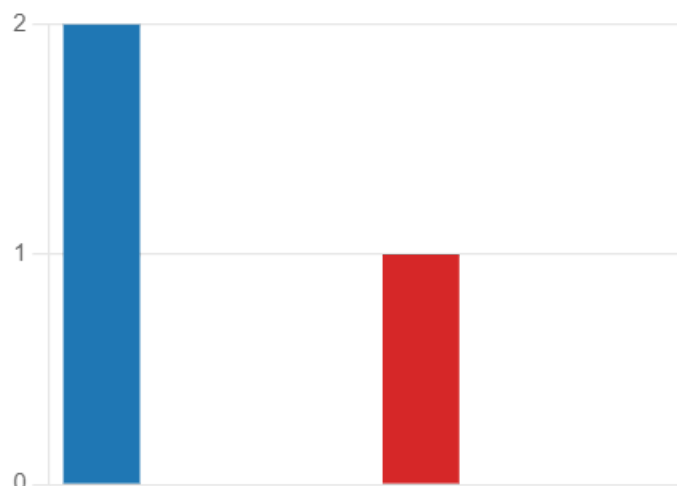


5. 上記質問において、そのように回答した理由は？

0
応答

6. 授業内容の水準は適切と思いますか。

- 適切だと思う。 2
- だいたい適切だと思う。 0
- どちらともいえない。 0
- あまり適切ではないと思う。 1
- 全く適切ではないと思う。 0
- わからない。 0



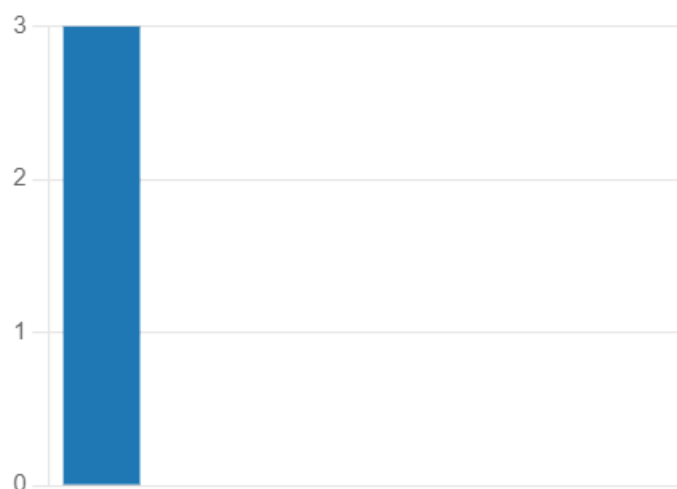
7. 上記質問において、「あまり適切ではない」「全く適切ではない」と答えた理由について、下の中から該当するものを一つ選んで、該当するものにチェック付けてください。（理由をその他と回答した方は具体的に記入してください。）

- 内容が高度すぎる 0
- 内容が簡単すぎる 1
- 内容に関心がもてない 0
- その他 0



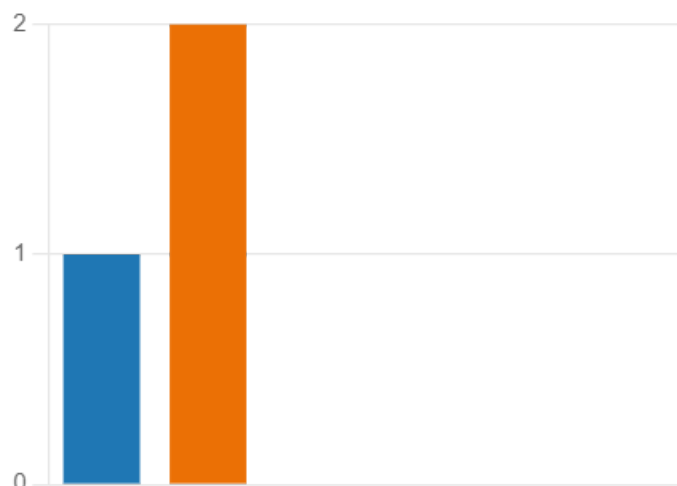
8. 教員は十分準備していると思いますか。

- よく準備している。 3
- おおむね準備している。 0
- どちらともいえない。 0
- どちらかといえば準備が足りない。 0
- 全く準備が足りない。 0
- わからない。 0



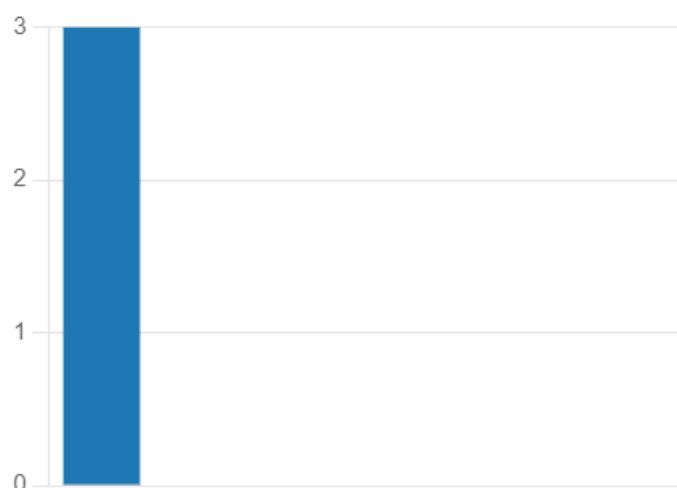
9. 教員の説明の仕方はいかがでしたか。

- たいへん分かりやすかった。 1
- 分かりやすかった。 2
- どちらともいえない。 0
- 分かりにくかった。 0
- 非常に分かりにくかった。 0
- わからない。 0



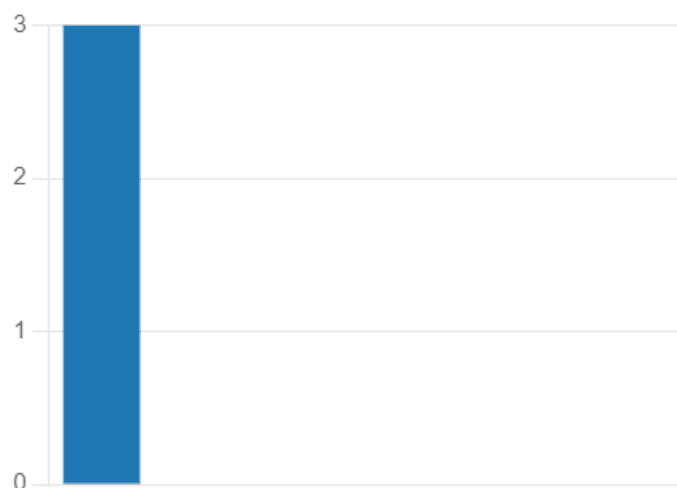
10. 教員の話は聞き取りやすかったですか。

- 聞き取りやすかった。 3
- だいたい聞き取りやすかった。 0
- どちらともいえない。 0
- やや聞き取りにくかった。 0
- 非常に聞き取りにくかった。 0
- わからない。 0



11. 板書・OHP・配布資料等の視覚的工夫は授業を理解するのに効果がありましたか。

- 効果があった。 3
- おおむね効果があった。 0
- どちらともいえない。 0
- あまり効果はなかった。 0
- 全く効果はなかった。 0
- わからない。 0



12. あなたはこの授業をどのように評価しますか。

- 大変評価できる。
- 評価できる。
- どちらともいえない。
- あまり評価できない。
- 全く評価できない。
- わからない。



13. 上記質問でそのように考える理由は何ですか。

個別回答末尾に掲載

3
応答

14. 今年度の授業はオンライン授業を実施しましたが、問題等なかったでしょうか。良かった点、悪かった点など意見・感想等があれば、自由に記入してください。

0
応答

15. 自由記述

個別回答末尾に掲載

3
応答

13. 上記質問でそのように考える理由は何ですか。

実務で使用する多くの資料を参照することができたから。

訴訟資料を見ることができる点は他の授業にない特徴であり、実務での民事訴訟法の運用が分かる点は評価できる。

しかし、全15回の授業で民事実務を概観する授業となっているため、一つのトピックに対して理解をあまり深めることが出来なかった点は評価できなかったから。

先生が実務で経験された事案を適宜説明しながら授業が進行していくので、具体的なイメージを持ちやすかったから。

16. 自由記述

資料が多かった点と、毎回クイズを作成することで授業への理解が深まったと感じる。

実際に弁護士として豊富な実務の経験を積まれている日浅先生と双方向的な授業ができたため、民事訴訟法の理解が深まることが出来て良かったです。

先生が弁護士として受任された実際の事件の資料が大量に配布され、説明していただけるので、民事訴訟の制度を具体的なイメージをもって学ぶことができました。ありがとうございました。

学生による授業評価に対する担当教員の所見

本講義は、実際に民事裁判で使用された資料やワークシートを使いながら、民事訴訟法の概要や基本的概念の知識習得、理解向上をしていただくことを目的としていました。

受講生からは、特に実務で使用した多くの資料を参照できたことで民事訴訟の制度を具体的にイメージできたなどの評価をいただきました。

また、本講義は、講師が一方的に話すだけではなく、講義を踏まえたクイズを受講生に出してもらったり、講師が適宜受講生に質問したり、ワークシートによる作業を通じて皆さんに考えたりしてもらいながら、できる限り双方向で講義を進めるという形を取りました。さらには、適宜板書も用いて受講生の理解を深めるように努力しました。受講生からも、クイズを作成することで理解が深まった、双方向の授業ができたので民事訴訟法の理解が深まったなどの回答をいただいております。さらに、毎講義後にMoodle上で受講生からの感想や質問を受け付けて、全員に回答しておりましたので、その点も評価されたのではないかと考えています。

本講義は、前期、後期でそれぞれ完結する形式ですので、半期で民事訴訟法の概要全てを理解していただくことは大変難しかったかと思いますが、受講生全員が、授業内容は適切な水準だったとの回答でしたので、今後も理解しやすい授業を目指したいと思います。

また、本講義は対面授業で行いましたので、受講生の反応もわかりやすく、適宜板書も使用することができましたので、講義内容は理解しやすかったのではないかと思います。もっとも、新型コロナウイルスの影響もあり、今回も裁判傍聴が実施できなかったことが残念でした。

今回の評価を踏まえて、より一層受講生の知識習得、理解向上につながるよう講義内容を充実させていきたいと考えております。